

大分県において 高病原性鳥インフルエンザ 疑似患畜確認 今シーズン国内60例目！！

農水省HPより (1/17時点)

【農場概要】

場所: 大分県佐伯市(県内1例目)

飼養状況: 約1.3万羽(肉用鶏)

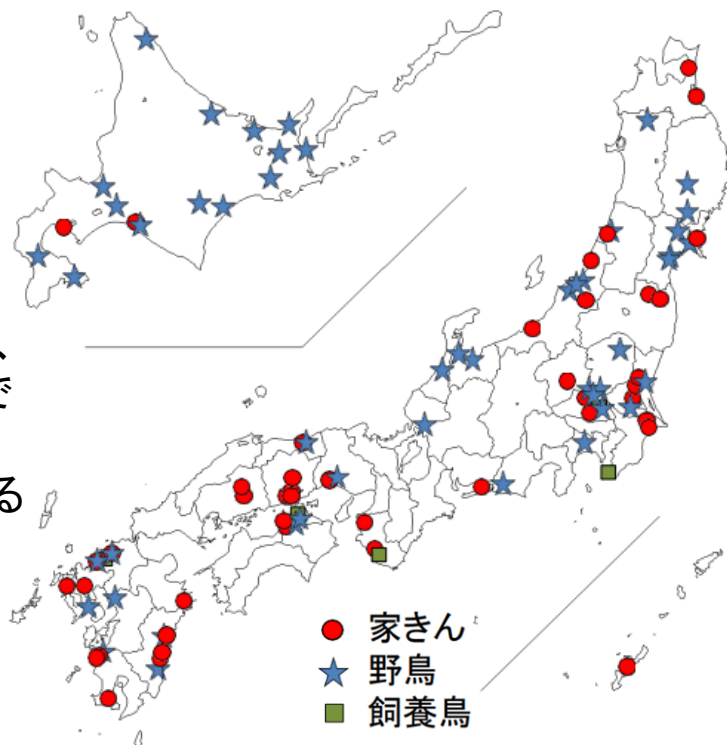
疫学関連農場: 大分県佐伯市

(2農場、合計約4.3万羽)

【経緯】

1/16 死亡羽数増加の通報を受け、
立入検査を実施、簡易検査で
陽性判明

1/17 遺伝子検査で疑似患畜である
ことを確認



発生状況(1/17現在)

家きん: 24道県60事例

野鳥: 24道県155事例

今シーズンは過去最大規模の発生となっています！

飼養衛生管理基準の遵守、防疫対策の徹底をお願いします

- 農場敷地内・鶏舎周辺の消毒を毎日行う
- 手指・長靴の消毒、消毒薬の適切な使用の徹底
- 衛生管理区域での衣服交換、鶏舎ごとの長靴交換の徹底
※長靴交換時、鶏舎内外で動線がまじわらないようにする
- 人・車両・物品の出入りの管理を徹底
- 畜舎、防護柵・防鳥ネットの点検・修繕
※鶏舎屋根裏・モニター一部分の点検も

発生農場でモニターから野鳥が侵入していた形跡のあった事例があります

異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします！

時間外連絡の場合は、警備室 0573-26-1114 にご連絡ください。